

## Top News

潜水調査船「しんかい6500」、  
支援母船「よこすか」インドネシア寄港

「しんかい6500」前での記念撮影

海洋科学技術センターとインドネシア技術評価応用庁との共同研究による調査「INDONESIA-JAPAN DEEPSEA EXPEDITION: Java Trench 2002」のため、潜水調査船「しんかい6500」及び支援母船「よこすか」がインドネシア・ジャカルタ港に寄港しました。

2002年10月6日(日)歓迎セレモニーが開催され、インドネシア側からは、メガワティ大統領、ハッタ研究・技術担当国務大臣他数名の閣僚及び関係者、日本側からは、日本大使館の飯村大使、高橋二等書記官及び関係者、両国あわせて約100名の出席がありました。ハッタ大

臣、飯村大使のご挨拶に続き、今回の調査の成功を祈念して、大統領から今回の首席研究員である徐主幹(深海研究部)に記念の作業服が手渡されました。

歓迎セレモニー終了後、大統領一行は「よこすか」船内において平野理事長、今井司令から「しんかい6500」の説明を受けられました。当初予定されていませんでしたが大統領のご要望により「しんかい6500」の操縦室の見学も行われ、「よこすか」船内は終始和やかな雰囲気でした。

(国際課)

## INMARTECH2002 を終えて



「えひめ丸引き上げ」に関する基調講演  
(Gregg W. Baumann少佐)

平成14年10月7日(月)から11日(金)の間、横須賀本部にてINMARTECH2002(海洋技術者の情報交換ワークショップ)がアジア・西太平洋地域では初めて開催され、過去4回で最大の169名(事務局員を除く)の参加がありました。海外からは12カ国(オーストラリア、ベルギー、ドイツ、韓国、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、南アフリカ、スウェーデン、台湾、イギリス、アメリカ)42

名が参加し、基調講演:2件、口頭発表:41件、ポスター発表:25件の発表がありました。

米国海軍Gregg W. Baumann少佐による「えひめ丸引き上げ」および海洋観測研究部内田研究員による「みらい南半球周航」についての基調講演をはじめ、各セッションでは各国最新の現場技術が紹介され、非常に活発な議論が交わされました。セッションの合間にはJAMSTEC横須賀本部並びに横浜研究所の施設見学やお茶会が催され、横浜研究所で実施したフェアウエルパーティは、関係者のご協力をいただき、大変好評のうちに終了することがで

きました。海外の参加者からも、非常に有意義なワークショップであったとの声が多く聞かれ、観測技術員にも大きな刺激になったことと思われます。

(研究業務部)



参加者による記念写真

## 創立記念式典／夏島会



創立記念式典時の記念撮影

10月1日、海洋科学技術センターで平成14年度創立記念式典が行われました。はじめに平

野理事長が式辞を述べ、引き続き、深海研究、海洋観測の各分野で業績のあった研究者の業績表彰および永年勤続者の紹介が行われました。

また4日には、退職者と現役職員が親睦を深める「夏島会」が開催されました。今回は8月にオープンした横浜研究所で開催することもあり、約160名近い参加者が会場を埋めました。理事長の挨拶に続き、加藤情報業務部長による横浜研究所についての説明が行われました。式典後に開かれた懇親会では、あちこちのテーブルからセンターの思い出話等が聞こえ、盛況のうちに終了しました。

(総務課)



夏島会の様子(横浜研究所)

## 極限環境生物国際学初代会長に掘越システム長が就任



国際学会総会にて講演する掘越システム長

極限環境生物フロンティア研究システムの掘越弘毅システム長が、2002年9月24日、イタリア・ナポリ市のナポリ大学フェデリコIIキャンパスで開催された第4回極限環境生物国際会議(Extremophiles 2002)における極限環境生物国際学会総会において、初代会長として正式に就任しました。国際学会設立にあたり中心的な役割を担ってきた掘越システム長は、これまで暫定的に会長の役割を果たしていましたが、今後は正式な会長として活動することとなります。隔年で開かれることとされています。

極限環境生物国際会議は33カ国が集まる世界規模の会議であり、1998年に海洋科学技術センターが主催して横浜で開催しました。極限環境生物国際学会は、事務局を海洋科学技術センター内におき、極限環境生物を扱う研究者や企業を対象に学術的交流をサポートをしています。副会長には、ドイツ・ハンブルグ工科大学のGaro Antranikian教授が就任され、また、4年後における日本での極限環境生物国際会議の開催が決定しています。

(極限環境生物フロンティア研究推進課)

## 地球深部探査センター(CDEX: Center for Deep Earth Exploration)発足シンポジウム開催

10月21日、横須賀本部で「地球深部探査センター(CDEX)発足シンポジウム」が開催されました。

「地球深部探査センター」は、2003年10月より開始される、日米主導で推進する統合国際深海掘削計画(IODP)の主要掘削船となる地球深部探査船「ちきゅう」の運用及び関連技術の開発を通して、IODPの目的達成・人類への貢献のため、本年10月1日に発足された組織です。

開催当日は、荒天にもかかわらず、関係各所より100名に及ぶ聴衆が訪れ、平センター

長が「人類は我々が救う!」と言うサブタイトルのもと科学・技術・運用・国際の観点から講演を行いました。この他、5名の講演者からも将来への夢、未知なる領域への挑戦について熱のこもった発表が行われました。また、引き続き行われた懇親会においても、講演者と参加者の間で活発な意見交換が行われました。

CDEXは、今後も色々な機会を捕らえ、活動報告・意見交換を行う予定です。

(地球深部探査センター)



講演中の平センター長

## 第7回横須賀市市民初期消火大会

初期消火技術の向上を目指して、横須賀市市民初期消火大会が去る10月17日(木)、消防総合訓練センターで行われました。市民10チーム30人、企業17社76人が参加し、当センターからも2チーム7名の女性職員が出場いたしました。

今回の出場者は、限られた訓練時間にもかかわらずその中で訓練の成果を遺憾なく発揮し、数多くの強豪企業チームを抑え、見事優秀賞(消火器の部)、優良賞(屋内消火栓操作法)を受賞しました。

(安全管理室)



### 編集後記

本格的な冬が目の前に近づいています。今年も恒例の「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」を実施します。多数の応募を期待しています。詳細は次号でお伝えします。

本 部 〒237-0061 横須賀市夏島町2番地15  
TEL 0468-67-9066  
むつ研究所 〒035-0022 青森県むつ市大字閏根字北閏根690番地  
TEL 0175-25-3811  
横浜研究所 〒236-0001 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25  
TEL 045-778-5316  
国際海洋環境情報センター 〒905-2172 沖縄県名護市字豊原224番地の3  
TEL 0980-50-0111  
東京連絡所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル10階  
TEL 03-5157-3900